

大館曲げわっぱ 150 年の森育成事業（大館市主催）

日時：平成30年6月22日

場所：大館市岩瀬字内町口地内の市有林 1.14ヘクタール

大館市主催の「大館曲げわっぱ 150 年の森育成事業」に当署から7名の職員が参加しました。本事業は、伝統工芸品「大館曲げわっぱ」の原料である天然秋田杉の確保が今後より一層困難となることから、その代替となる高齢級秋田杉を市有林において150年かけて育成していく取り組みで、今年度よりスタートしました。

当日は、山瀬小学校5年生と早口小学校6年生の計41名のほか、大館市、秋田県、市議会、教育委員会、当森林管理署等の職員が、杉のコンテナ苗3000本を植栽しました。この取り組みは小学生に対するふるさとキャリア教育の一環でもあることから、この体験を通じて子供たちが地元の伝統文化や森林・林業を大切にする心を育てることが期待されています。

当森林管理署においても、平成11年に大館市内の国有林に「大館曲げわっぱの森」（協定者：「曲げわっぱ」育成協議会、面積：約20ヘクタール）を設定するなど、高齢級秋田杉の育成に取り組んでいるところです。今後も地域の方々と一体となって伝統文化の継承に少しでも貢献していきたいと考えております。



開会式



植栽の様子①



植樹の様子②



集合写真